



令和5年6月15日 発行
第41号

地域活動支援センター

わかくさ

地域活動支援センター宇都宮市若草作業所（社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会）
〒320-0072 宇都宮市若草3-12-11 TEL/FAX 028-643-4759

これまでの活動報告

ごみ分別の大切さを実感

～社会適応訓練①～

4月28日（金）



県内最大規模の焼却ごみ処理施設「クリーンパーク茂原」の施設見学に行ってきました。リサイクルプラザで施設の仕組みをDVD視聴した後、職員の案内でごみが巨大なクレーンで焼却炉に運ばれる様子や、機械を通してプラごみ等が細かく分類されていく様子を目の当たりにし、大量のごみにビックリ！機械の迫力にドキリ！しながら、ごみを処理する大変さを感じることができました。

また「ごみも貴重な資源」として、ごみの焼却灰を道路（アスファルト）の材料として使用したり、不燃系ごみ（びん、缶、ペットボトル等）を分別して資源物としてリサイクルを推進している説明がありました。

今回の施設見学で「限られた資源を大切にすること」「分別することの大切さ」を学びました。



大量のごみを一度につかみ上げる巨大なクレーンの迫力に釘付け!!!!



ガラスのピンが自動的に色分けされてる! スゴイ!!

焼却ごみの中に混入していた金属類の数々。こんなにたくさんあるなんて!



屋外で食事 気持ちイイ~!!

施設見学の後は、ジョイフル本田のフードコートでお待ちかねのランチタイムとなりました。

それぞれ好きなメニューを注文して、自分でお支払い!

お天気も最高に良かったので、風通しの良い屋外テラスでおいしくいただきました。 \(\o/\)

食後にはソフトクリーム等の甘〜いスイーツも堪能し、大満足でした。

豆情報コーナー

ごみを減らすために「3R」に取り組もう!

Reduce リデュース[発生抑制]
ごみになるものを減らしましょう（食品ロス等）

Reuse リユース[再使用]
繰り返し使いましょう（詰替え商品の利用等）

Recycle リサイクル[再生利用]
もう一度資源として利用しましょう（ごみの分別等）

3つのアルファベットの頭文字が「R」であることから「3R」となっています。日頃から「3R」を実践し、限りある資源を大切にしていきましょう。

（※「広報うつのみや5月号」より抜粋）

あ・り・が・と・う

若草作業所の活動を支えてくださっている地域の皆様や業者の方々をご紹介します。

いつもお仕事をいただき
ありがとうございます。

とちぎセルプセンター 様

とちぎセルプセンターでは、福祉施設で作られた商品（セルプ商品）の販売促進・PR活動を行うとともに、官庁・企業から様々な作業を請け負って施設や事業所へ斡旋する等、様々な側面から障がい者の「働く」を支援して自立の手助けをしています。

若草作業所においても、ヘルプマークのストラップ取り付けやボールペンの袋詰め作業等を斡旋していただき作業しました。昨年度は、栃木県で開催された「いちご一会とちぎ国体」記念品の木製コースターの袋詰めをしました。



これからの主な予定

- | | |
|----|--------------------|
| 6月 | 映画鑑賞会
第2回社会適応訓練 |
| 7月 | 社会見学 |
| 8月 | 利用者健康診断 |
| 9月 | 避難訓練
第2回保護者会 |



諸事情により変更になる場合があります

職員紹介



4月から若草作業所に配属になりました金浦啓子（かねうらけいこ）です。まだ、わからない事ばかりですが、皆さんにいろいろ教えていただきながら、楽しく働きたいと思います。



つながいの輪

先の3月3日に、わかくさアリーナで実施した「ダンスワークショップ」講師の大村恵さんへお礼の色紙をお送りしたところ、お返事の手紙をいただきました。また機会がありましたら、一緒に活動していきたいと思っています。



活動の様子



お礼の色紙



お返事の手紙

日頃より、若草作業所の活動にはたくさんのご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

令和5年度は、職員の異動もあり、新しい体制でのスタートとなりました。また、新型コロナウイルス感染症の位置づけが第5類に変わったことで、様々な「変化」の年となりそうです。

基本的な感染予防に努めながらも、作業所内外での活動範囲を少しずつ広げて、より一層元気な笑顔あふれる1年にしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

若草作業所 所長 齋藤 貴絵